

## 《みずうみ施設目標》

『やさしさ』『思いやり』『丁寧な仕事』の介護が受けられ、  
誰にとっても『安心』出来る施設を創る。

## 《みずうみ介護方針》

- 入居者様1人1人のこれまでの生活を大切にしながら、“今”の状況に合わせた“家庭的”な介護をします。
- 残された人生をどう生きるか一緒に考えていきます。
- 全ての人に信頼第一のサービスを提供します。

## 《みずうみ行動指針》

- ・みずうみでは、様々な職種・職位の職員が適切に報告、連絡、相談を行うとともに、ご家族との“繋がり”を大切にし、ご家族と一緒に入居者様の生活を支えていきます。また地域の方々との交流を通し、愛される施設を目指します。
- ・みずうみでは、鍵を掛けて出られなくしたり、ご本人の行動を抑制するような事はしません。必要以上の薬を使つての抑制やご本人の意思に反しての無理な制止もしません。
- ・みずうみでの生活は、これまでの生活の延長ととらえ、様々な障害を負ってもそれを個性とし、自分に自信をもって生きていける環境をつくっていきます。また、定期的に行事が実施され、暮らしに楽しみが持てるよう取り組んでいきます。
- ・みずうみでの食事は、出来る限り最期まで口から食べる事にこだわります。1人1人の“今”の状況を常に把握し、食事の形態や姿勢、介助方法等を工夫し、美味しい食事を安心・安全に食べられるようにしていきます。
- ・みずうみでの入浴は、個人のプライバシーにしっかりと配慮し、入浴準備（着替えの用意）から入浴終了まで一対一での気持ちの良い入浴を目指して行きます。また、出来る限り最期まで入浴する事（看取り時）を大切にします。
- ・みずうみでの排泄は、入居者様の“今”の状況に合わせ、おむつ等に出た後にするのではなく、出来る限り出る前にトイレに座る事を基本とした介護を、柔軟な考えで実施していきます。
- ・みずうみでは、入居されてから最期の時が来るまで全てを“看取り”と考えます。  
残された人生を、家庭的な考えの下にみずうみで、どう生きたいか、どう生きてほしいかをご本人、ご家族と一緒に考え、御意向に沿った対応をしていきます。